

1.ポリシーメイキング（小項目含め全21項目）						
設問	a	b	c	d	e	備考
1-1	人権侵害防止規定など、キャンパス内における差別・ハラスメントを防止・禁止するための規則が制定されている					
1-1a	性別に基づく差別禁止が明文化されている					
1-1b	性的指向に基づく差別禁止が明文化されている					
1-1c	性自認・性表現に基づく差別禁止が明文化されている					
1-2	学籍簿の記載に旧姓や通称名を使うなど、公的書類（戸籍や住民票、パスポート等）と異なる表記にできるシステムが用意されている					
1-2a	学籍や各種書類に記載する名前を変更する手続きが、学生にとって利用しやすいように整備されている					
1-2b	学籍や各種書類に記載する性別を変更する手続きが、学生にとって利用しやすいように整備されている					
1-2c	成績証明書や卒業証書などの各種証書は、変更後の名前で発行されている					
1-2d	卒業生も所定の申請を行うことで、卒業後に変更した名前・性別で各種証書を発行することができる					
1-3	入学志願者は、入学試験願書や受験票に、希望する名前、自認する性自認・性表現で記入し、受験することができる					
1-3a	入学試験合格者は、入学書類に、希望する名前、自認する性自認・性表現で記入でき、入学時点から希望に沿った学籍を取得できる					
1-4	大学内の各種書類は定期的に精査されており、不必要な場面で性別を記入することが予防されている					

a. はい／できる b. はい、ただし完全ではない／部分的にできる c. はい、ただし利用しにくい／できるが、利用しにくい（利用したくてもできない）
 d. いいえ／できない e. 知らない

設問	a	b	c	d	e	備考
1-4a						
1-4b						
1-5						
1-6						
1-7						
1-8						
1-9						
1-10						
1-11						

a. はい／できる b. はい、ただし完全ではない／部分的にできる c. はい、ただし利用しにくい／できるが、利用しにくい（利用したくてもできない）
 d. いいえ／できない e. 知らない

2. 組織としてのコミットメント (小項目含め全20項目)						
設問	a	b	c	d	e	備考
2-1	学生を対象とした、ジェンダー・セクシュアリティに関するリソースセンターやオフィスが設置されている (LGBT学生センター、ウィメンズオフィス、ダイバーシティオフィスなど)、ないし、担当部署が明確に示されている (学生課、カウンセリングセンターなど)					
2-2	ジェンダー・セクシュアリティに関する支援サービスのための常勤スタッフが有給雇用されている					
2-3	学生・教職員に開かれたジェンダー・セクシュアリティ研修プログラムが常設されており、定期的の開講するほか、希望に応じて出前講座も行う					
2-4	教職員の募集に際しては、明確にカミングアウトをしている人材を含めた多様な人材登用を、積極的に推進している					
2-4a	理事会のジェンダーバランスが適切である					
2-4b	教員のジェンダーバランスが適切である (常勤の准教授以上の職位における女性割合、非常勤教員の女性割合)					
2-4c	職員のジェンダーバランスが適切である (管理職における女性割合、非常勤を含めた雇用形態ごとの女性割合)					
2-4d	性別に基づく賃金格差が解消されている					
2-4e	ジェンダー・セクシュアリティ関連学問領域のための教員を、積極的に募集・採用している					

a. はい／できる b. はい、ただし完全ではない／部分的にできる c. はい、ただし利用しにくい／できるが、利用しにくい (利用したくてもできない)
 d. いいえ／できない e. 知らない

設問	a	b	c	d	e	備考
2-5 ジェンダー・セクシュアリティの課題を扱う諮問委員会が常設されている、ないし、人権関連の委員会が常設されている						
2-5a 性別に基づく課題が、毎回審議されている						
2-5b 性的指向に基づく課題が、毎回審議されている						
2-5c 性自認・性表現に基づく課題が、毎回審議されている						
2-6 地域のLGBTQコミュニティとのあいだで、積極的なネットワーク構築を行っている						
2-7 カミングアウトをして働く常勤の教職員がいる						
2-8 教職員間のLGBTQAネットワークが構築されている						
2-9 LGBTQ向けの大学紹介フェアに毎年参加している、ないし、一般の大学紹介フェアや独自のオープンキャンパスでジェンダー・セクシュアリティに関して積極的な情報発信						
2-10 LGBTQ学生向け、ないし、ジェンダー・セクシュアリティ研究志望学生向けの奨学金プログラムや、学術奨励賞が提供されている						
2-11 ラベンダーセレモニーやレインボーセレモニーなど特別な卒業式イベントが用意されている、ないし、ジェンダーを問わず参加しやすい卒業式が実施されている						
2-12 公式の同窓会組織の中に、LGBTQAグループが正式に位置づけられている						

a. はい／できる b. はい、ただし完全ではない／部分的にできる c. はい、ただし利用しにくい／できるが、利用しにくい（利用したくてもできない）
 d. いいえ／できない e. 知らない

3. 設備面（小項目含め全11項目）						
設問	a	b	c	d	e	備考
3-1	トイレが設置されている建物には、ユニバーサルトイレ（身体の状況や性別を問わず使いやすいトイレ）が必ず設置されている					
3-2	更衣室が設置されている建物には、ジェンダーを問わず利用できる更衣室、ないし、区切られた更衣スペースが必ず設置されている					
3-3	ジェンダーを問わず利用できるロッカールームないしロッカーが設置されている					
3-4	学生・教職員が利用しやすいかたちで、授乳・オムツ交換設備が設置されている					
3-4a	授乳・オムツ交換設備はジェンダーを問わず利用できる (女性トイレにのみ設置、といったことがない)					
3-5	学生・教職員が利用しやすいかたちで、託児施設が設置されている (認可、無認可等形態は問わない)					
3-5a	託児施設には、学生・教職員が優先される利用者枠が存在している (利用対象者が地域にも開かれている場合)					
3-5b	0歳児の託児ができる					
3-5c	病児の託児ができる					
3-5d	短時間の託児ができる					
3-5e	託児利用に関する経済的なサポート制度が存在している					

a. はい／できる b. はい、ただし完全ではない／部分的にできる c. はい、ただし利用しにくい／できるが、利用しにくい（利用したくてもできない）
 d. いいえ／できない e. 知らない

4. アカデミックライフ (小項目含め全12項目)						
設問	a	b	c	d	e	備考
4-1	ジェンダー・セクシュアリティ研究のカリキュラムやプログラムが提供されている					
4-2	ジェンダー・マイノリティ、セクシュアル・マイノリティに特化した講座が開講されている					
4-3	フェミニズムに特化した講座が開講されている					
4-4	受講生を不必要にジェンダー分けして開講する講座が存在しない (男女別学のクラスが開講されていない、授業内で性別によって異なる役割が割り振られない、性別によって異なる服装が推奨・強制されていないなど)					
4-5	宿泊を伴う行事・合宿(部活を含む)において、ジェンダー・セクシュアリティに配慮した施設が選ばれている(希望に応じた部屋割りが可能、入浴設備への配慮など)					
4-6	学外での実習を伴うコースにおいて、ジェンダー・セクシュアリティに配慮のある実習先が選定されている、ないし、被害報告がしやすい環境が整備されている (教育実習先での性別に基づくドレスコードがない、各種ハラスメント被害について相談・報告ができるなど)					
4-7	介護・子育て等のケア役割を担っている学生の学修支援が整っている					
4-8	交換留学などの公式の派遣プログラムにおいて、ジェンダー・セクシュアリティに配慮した募集・サポートが行われている					
4-9	受け入れた留学生に対しても、積極的な情報発信・支援を行う体制が構築されている					
4-10	新任の教職員への研修に、各種ハラスメントについて学ぶことが含まれている					
4-11	新任の教職員への研修に、性的指向の課題について学ぶことが含まれている					
4-12	新任の教職員への研修に、性自認・性表現の課題について学ぶことが含まれている					

a. はい/できる b. はい、ただし完全ではない/部分的にできる c. はい、ただし利用しにくい/できるが、利用しにくい(利用したくてもできない)
 d. いいえ/できない e. 知らない

5. 学生生活（小項目含め全11項目）						
設問	a	b	c	d	e	備考
5-1	LGBTQA学生グループ（学生による自発的グループ）が存在している					
5-2	LGBTQA卒業生グループ（卒業生による自発的グループ）が存在している					
5-3	ジェンダー・マイノリティ、セクシュアル・マイノリティに関する社会貢献活動や社交イベントを定期的で開催している					
5-4	トランスジェンダーの課題に関するイベント（講演会やワークショップ等、教育・啓発的イベント）を定期的で開催している					
5-5	セクシュアル・ハラスメントに関するイベント（講演会やワークショップ等、教育・啓発的イベント）を定期的で開催している					
5-6	マタニティ・ハラスメントに関するイベント（講演会やワークショップ等、教育・啓発的イベント）を定期的で開催している					
5-7	ジェンダー・セクシュアリティとクロスする関連領域・隣接分野（マイノリティ内の格差や派閥主義、人種や国籍、依存や障害の有無など）に関するイベント（講演会やワークショップ等、教育・啓発的イベント）を定期的で開催している					
5-8	ジェンダー・センシティブなキャリア形成支援（就職相談、進学相談）を提供している					
5-9	LGBTQインクルーシブなキャリア形成支援（就職相談、進学相談）を提供している					
5-10	LGBTQ新入生向けのメンタープログラム（学業や大学生活への適応サポート）が提供されている					
5-10a	新入生勧誘や歓迎会において、あらゆるいじめやハラスメントを防止するための情報提供が、新入生のみならず、全ての学生・教職員に向けて積極的に行われている					

a. はい／できる b. はい、ただし完全ではない／部分的にできる c. はい、ただし利用しにくい／できるが、利用しにくい（利用したくてもできない）
 d. いいえ／できない e. 知らない

6. 寮や居住（小項目含め全12項目）						
設問	a	b	c	d	e	備考
6-1	ジェンダー・セクシュアリティに配慮した学生寮が提供されている					
6-1a	LGBTQA寮など、ジェンダー・セクシュアリティをテーマとする寮ないしリビングスペース、フロア、LLC（Living Learning Community）などが提供されている					
6-1b	性自認や性表現によらず入居可能な学生寮が提供されている					
6-1c	学生寮にはジェンダーを問わない、ないし、個室のトイレが設置されている					
6-1d	学生寮にはジェンダーを問わない、ないし、個室の入浴設備（シャワーなど）が設置されている					
6-2	ルームメイトマッチングにおいて、ジェンダー・セクシュアリティに配慮したシステムが採用されている（異性が同性かを選択できる、Allyであることを明らかにできる、など）					
6-3	同性カップルも居住できる家族寮ないし住宅が提供されている					
6-3a	学生向けに家族寮ないし住宅が提供されている					
6-3b	教職員向けに家族寮ないし住宅が提供されている					
6-3c	家族寮ないし住宅には、子どもも一緒に居住することができる					
6-4	ジェンダー・セクシュアリティに基づく課題や悩みに関する研修や、各種相談窓口の情報を、全ての寮生に提供している					
6-5	ジェンダー・セクシュアリティに基づく課題や悩みに関する研修を、寮生活やハウジングに関する全ての教職員に提供している					

a. はい／できる b. はい、ただし完全ではない／部分的にできる c. はい、ただし利用しにくい／できるが、利用しにくい（利用したくてもできない）
 d. いいえ／できない e. 知らない

7. 保安（小項目含め全11項目）						
設問	a	b	c	d	e	備考
7-1	人権侵害を報告する手続きが、利用しやすいように整備されている					
7-1a	LGBTQ関連のいじめ・ヘイトクライム、不当な取り扱いが報告しやすい					
7-1b	セクシュアル・ハラスメントが報告しやすい					
7-1c	マタニティ・ハラスメントが報告しやすい					
7-2	いじめ・ヘイトクライム防止教育や研修が、活発かつ継続的に提供されている					
7-3	ジェンダー・マイノリティ、セクシュアル・マイノリティの学生や学生団体に対して、積極的にアウトリーチが行われている					
7-4	大学の警備員に対して、性的指向の問題に関する教育を行っている					
7-5	大学の警備員に対して、性自認・性表現の問題に関する教育を行っている					
7-6	性暴力被害やパートナー暴力被害（DV、デートDV）に関する支援が提供されている					
7-6a	性暴力被害やパートナー暴力被害に関する支援が、女性のみならず、男性やジェンダー・マイノリティ、セクシュアル・マイノリティにも明確に提供されている					
7-6b	性暴力被害やパートナー暴力被害に関して、被害報告の方法や、近隣のアフターピル処方などの医療的措置が可能な病院の情報、学外の支援団体の連絡先等がまとまって提供できる体制が構築されている					

a. はい／できる b. はい、ただし完全ではない／部分的にできる c. はい、ただし利用しにくい／できるが、利用しにくい（利用したくてもできない）
 d. いいえ／できない e. 知らない

8. カウンセリング、健康（小項目含め全10項目）						
設問	a	b	c	d	e	備考
8-1	健康診断はジェンダー・センシティブ、または完全に個別対応のものとして実施されている					
8-2	ジェンダー・セクシュアリティの課題に関するカウンセリングやサポートグループが提供されている					
8-2a	ジェンダー・マイノリティ、セクシュアル・マイノリティに関する研修を受け、専門性のあるカウンセラーが常駐している					
8-2b	女性に関する研修を受け、専門性のあるカウンセラーが常駐している					
8-3	匿名・無料で利用しやすいHIVを含む性感染症検査を提供、ないし、外部の信頼できる検査機関の情報を提供している					
8-4	LGBTQも包摂した、セーフターセックスに関する資料を、簡単・安全に入手することができる					
8-5	依存症に関する情報について、ゼロ・トーランス（いわゆる「ダメ、絶対」）ではないものを中心に、信頼できる情報が提供されている					
8-6	性別適合手術での入院を含むジェンダー移行に伴う休学に対し、経済面・学業面での配慮がされている					
8-7	妊娠・出産に関する情報が、身体面に関する医療的な情報だけでなく、社会的サポート情報も含めて、多角的に提供されている					
8-8	出産・育児に伴う休学（出産前後および託児制度確保までの間）に対し、経済面・学業面での配慮がされている					

a. はい／できる b. はい、ただし完全ではない／部分的にできる c. はい、ただし利用しにくい／できるが、利用しにくい（利用したくてもできない）
 d. いいえ／できない e. 知らない